

今号のわだい

- [1面] 各県ナースウェブ 春闘取り組み、平和行進
- [2面] 5月12日は「看護の日」
- [3面] 平成の全厚労活動 ②

全厚労ニュース

全 国 労働組合連合会
厚生連

〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日 定価 30円
<http://www.zenkouro.org/>



東京中央メーデー 医療・福祉現場の要求を掲げる

働くものの声、全国で 第90回メーデー



秋田中央メーデーに参加する秋厚労

5月1日、第90回メーデーが全国294カ所で開催され、15万人が参加しました。

雨予報も吹き飛ばした東京・中央メーデーでは、2万8千人が参加（主催者発表）。

「定時で帰る」をイメージしたカエルの帽子や、「残業なしで暮らせる賃金」といったプラカードを手に、参加者は東京都内をデモ行進でアピールしました。



福島・白衣を着てアピール

5月12日の看護の日にあわせ、各地で「安心安全の医療・介護」をめざしたナースウェブが催されました。

全厚労各県でも、腰痛防止の学習講演（秋田）や、地元商店街を白衣でパレード（静岡）など県医労連主催で行なわれた行動に参加しました。

福厚労では5月11日に、郡山駅前での「医療・介護労働者の全国一律産別最低賃金」を求める署名行動に、28名で参加（全体46名）。介護職の平均賃金が全産業と比べて8万円以上も低いことや、看護師増員が急務な現場の実態をリレートークで訴えました。茨厚労では5月12日に、水戸駅前では「大幅増員・夜勤改善署名」行動に取り組みました。例年よりも自ら「署名します」と足を止めてくれるかが年齢問わず見られ、茨

5月12日の看護の日にあわせ、各地で「安心安全の医療・介護」をめざしたナースウェブが催されました。

全厚労各県でも、腰痛防止の学習講演（秋田）や、地元商店街を白衣でパレード（静岡）など県医労連主催で行なわれた行動に参加しました。

各県・元気に街頭へ



茨城・学生も署名してくれました



長野・若者も積極的に署名

4月22日、長厚労では今春闘3回目の交渉に合わせ、待機集会和白衣での署名行動を行いました。11支部70

春闘 地域でアピール

名の組合員での、長野駅前での行動は、30分という短い時間でしたが93筆もの署名を集めることができました。署名行動は初めてという若い組合員も多数おり、はじめは戸惑っていましたが、徐々に慣れ、「署名をして貰えると嬉しい」、「娘さんが看護師だという方に、「頑張ってください」と励まされて嬉しかった」など、手応えを感じたようです。残念ながら今交渉で前進回答は引き出せませんでした。組合員が一致団結し、地域の皆さんに私たちの要求を

広島・署名宣伝

4月13日、広厚労は春闘の一環として、尾道駅前にて「大幅増員・夜勤改善署名」行動に取り組みました。当日はお天気もよく、地元の催し物「さくら茶会」もあり、駅前には多くの人で賑わいをみせました。組合員約30名で、白衣を着て臨んだ署名行動では、「安心、安全な医療のために看護師の増員を」と訴え、30分間で408筆が集まりました。

署名をしてくれた地元の皆様さんからは、「看護師さんが大変なのは知っているよ」、「頑張ってもらわないよ」、「農協病院はいつもお世話になってるからね」、「いつもありがとう」といったあたたかい声援を頂きました。短い時間ですが地域の方々と交流できたことは大きな収穫となりました。



広島・署名に取り組んだ仲間



核なき世界へ歩みだす 国民平和大行進

5月6日、被爆地・広島、長崎を目指して2019年原水爆禁止国民平和大行進がスタートしました。東京-広島コースでは、東京都江東区にある夢の島公園で出発集会を開催。同公園内にある、ビキニ環礁で被爆したマグロ船「第五福丸丸」展示館（先日リニューアルオープン）の前に700人が集いました。また行進には20人の被爆者も参加。通し行進者とともに笑顔で手を振ってアピールしました。

5月12日は看護の日

看護師の波が要求前進の大きな力!

5月12日は「看護の日」です。「看護の日」や、「看護師確保法」制定のきっかけとなった、1989年銀座でのナースウェーブから今年で31年が経ちますが、今なお全国各地でその波は受け継がれています。平成元年に始まった運動を令和元年になった今振り返り、これからの運動について考えます。

看護師確保法制定の始まりは平成元年

1980年代半ば、医療現場では深刻な看護師不足から看護職員の健康悪化が社会的な問題となりました。日本医労連は1988年10月、全組合員16万人(当時)

を対象にした「医療労働者の健康実態調査」(現在の看護職員の実態調査)を実施。翌年(平成元年)春に結果を発表し、医療労働者の過酷な労働実態と健康不安が大きな社会問題としてメディアで報道されます。そして、同年秋の「白衣の総行動」で、看護師130

0人が銀座をデモ行進(写真2)、各メディアがこれを大きく報道し国民的な関心ごとになりました。この「ナースウェーブ」が全国に広がり、1990年秋には46都道府県2万人が参加する大きな「看護師の想いをのせた波」へと発展しました。



(写真1) 2006年10・27中央集会

ナイチンゲールの誕生日が由来

このような国民的運動の広がり背景に、旧厚生省は1990年、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちな



(写真2) 1989年1300人で銀座デモ行進

み、5月12日を「看護の日」と制定しました。また5月12日を含む週の日曜日から土曜日までを「看護週間」としています(図1)。また1965年から、国際看護師協会(本部・ジュネーブ)は、この日を「国際看護師の日」に定めています。

看護師の「9K」が流行語大賞で銀賞

さらに1992年は「日本新語・流行語大賞」の表現部門で「9K」が銀賞を獲得(写真3)。「9K」とは、労働環境や作業が「きつい」「汚い」「危険」である職場の事を、アルファベットにして頭文字をとり「3



(写真3) 「9K」流行語大賞授賞式の様子

これを、実効性のあるものにするために、2005年には医療・介護労働者の大幅増員を求める運動を提起。署名に取り組み運動を強め、そして2006年秋に行われた東



(図1) 看護協会看護の日のロゴマーク

「9K」と言いますが、看護師はさらに「休暇がとれない」「規則がきびしい」「化粧がのらない」「薬に頼って生きている」「婚期が遅い」「給料が安い」が加わ

実効性のある法整備を訴えよう

1989年から始まったナースウェーブは「看護師確保法・基本指針」を制定させるという大きな成果を残しました。しかし、「月8日以内」の夜勤規制は「基本指針」という努力義務で止まっています。

看護闘争を再び大きな国民的運動の波に!

以上の様に1989年に始まったナースウェーブは様々な波を起し、医療労働者の労働環境改善を推し進めてきました。

しかし、今日の医療や介護現場

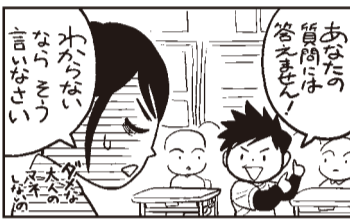
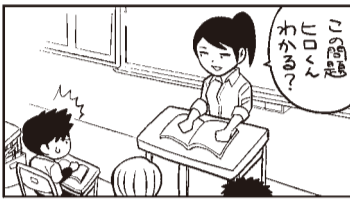
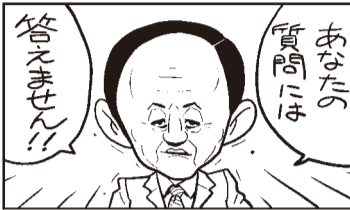
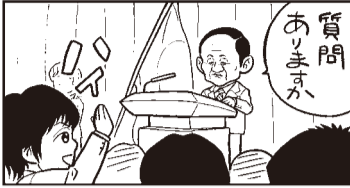
京・日比谷公園での中央集会には5300人の医療労働者が参加し、再び大規模な白衣の銀座デモが行なわれました(写真1)。

また、看護師確保法の改正などを求める署名運動も続けられ、2007年の第166国会では、全会一致で請願が採択されました。その内容は、①医療従事者の大幅増員、②配置基準を夜間の患者10人に対し1人以上、日勤時は患者4人に対し1人以上とする、③夜勤日数を月8日以内に規制など、看護師確保法等を改正を求めています。署名の運動を継続して広げるとともに、今一度マスコミや全職員、全国民を振り向かせる看護闘争が切望されています。そのためには職場に根ざした運動と、「良い看護・医療をしたい」という思いを繋ぎ、大きな国民的運動の波を再び作り上げましょう。

(図2) 現在取り組んでいる増員署名

闘う門福来る

カクイシ ジュンズク



全厚労・平成の30年を振り返る ②

「合理化」の動き強まり 様々な課題に着手

全厚労平成30年史の2回目は、平成11(1999)～20(08)年頃の運動を振り返ってみます。平成最初の10年は大きく運動が飛躍した一方、平成7(95)年に当時の日経連(日本経営者団体連盟、02年に経団連と統合)が、「新時代の日本の経営」を打ち出し、雇用の「ミッド化・非正規化」推進や職場の「合理化」が進む中での労働運動でした。

医療費・社会保障費抑制の路線強まる

平成3(91)年にバブル経済が崩壊して以降、経済界からはその中でも利益を上げていこうと、経済悪化のしわ寄せを労働者、生活者に押し付けようと、「医療費・社会保障費抑制政策」が強まってきました。また介護保険が平成12(00)年から始まるなど、高齢者介護の状況も大きく変化し、今では「加入すれど、使えない」と「国家的詐欺」とまで評されているのは存じの通りです。

医療事故相次ぐなか、独自の政策提言を行う

平成6(94)年、当時の厚生省は、国立病院での実働16時間・拘束17時間半の「長時間2交替制」試行を認め、診療報酬上の通知も出します。全医労・医労連を中心に大反

対運動が行われました。全厚労でも夜勤協定闘争の典型となった広島・尾道総合病院で、赤字を理由に「長時間2交替」と「人員削減」が提案されましたが、全厚労・医労連や地域への署名を3万7千筆以上集め、「あぶらとり紙」の財政活動、マスコミ活用、デモ、対県交渉、職場オルグなどの多彩な活動で、平成11(99)年2月、導入を断念、阻止させました。

同年1月には、横浜市大病院で患者の取り違え事故が起き、患者を誤った手術してしまつたという「医療事故」が起きてしまいました。その時は、二人の患者さんを、手術室直前で、一人の看護師で運んだ

ことで、取り違えてしまったものでした。マスコミ報道も過熱し、「医療従事者の責任」が大きくクローズアップされ、医療関係者へのパッシングも強まりました。

全厚労では、病棟だけでなく外来・手術室での人員要求基準を定め、人員体制の改善を求めます。また平成13(01)年には、医療労組としての立ち上がり、医療事故についての政策提起を行いました。事故を起こした当事者の責任に矮小化させず、事故の教訓化、再発防止を目的に専門家による第三者機関「医療事故防止安全委員会」を創設し、安全委員会の届け出で、刑事免責を受けよう提案しました。

女性・母親大会とのコラボレーションも

平成12(00)年の婦人集会は、「女性集会」と改められるとともに、東京で開催された「日本母親大会」ともコラボし、2日目の全体集会是母親大会企画に結集、初日から2日目の分科会は独自に設定するという形式で開催されました。

女性集会には75名が参加、母親大会には1万5千人が集まり、黒柳徹子さんの記念講演で、発展途上国を訪問された体験談が語られました。母親大会は「生命を生み出す母親は生命を守ることを望みます」

全厚労平成30年史②(1999～2008年頃)

西暦	平成	月	出来事
1998	10	5	ナースウェーブ10年目の中央集会(約5000人が参加)
1999	11	1	横浜市大病院の患者取り違え手術が発生。マスコミ報道が過熱
1999	11	10	第13回・幹部看護師集会 12年間で22県中20組織で「夜勤協定」を獲得
2000	12	7	第23回女性集会 名称を「婦人」から「女性」へ変更
2000	12	11	反「合理化」対策会議を開催
2001	13	3	病院薬剤師定員問題に関する全国代表者会議を開催、厚労省交渉を行う
2001	13	9	アメリカ同時多発テロ 発生
2002	14		有事法制の問題が大きくなる。STOP! 有事法制全国集会に全国から参加
2003	15	11	文部科学省・厚生労働省と交渉。文科省とは初交渉
2004	16	3	外来・手術室・透析室看護師集会を開催(静岡)
2005	17	1	全厚労「災害マニュアル」を作成
2005	17	9	第53回定期大会(秋田)50周年記念式典を行う
2005	17	11	臨床検査技師・放射線技師・透析の看護師と臨床工学技士の配置基準私案を厚労省へ提案
2006	18	3	秋田・鹿角総合病院から精神科常勤医師が撤退。市民町民集会が開かれる
2006	18	6	50周年企画でスウェーデン、デンマークへ医療視察
2006	18	10	医師・看護師増やせ集会に5300人。全厚労は283人が集結
2007	19	7	新潟・中越沖地震が発生。刈羽総合病院が被災
2008	20	3	徳島で13年ぶりに白衣デモを開催。愛知・広島でも実施される
2008	20	12	島根・石西厚生連が突然の「破産宣告」。栃木・塩谷総合病院の移譲先が決定される

※全厚労ニュースより編集部での抜粋と抜粋しました

青年集会・K's station 始まる

同じ年、青年集会所もリニューアルし、「K's station」が始まりました。「K」は、厚生連の頭文字に「感動・希望・心の交流」の総称として、名付けられ、第1回集会是「星

て続いています。深めました。K'sはその後、医労連の全国アクトと交互に開催されて、次世代の青年が成長・交流する取り組みとして続いています。

鹿角総合病院から精神科の常勤医師が撤退することが告げられ、支部では急遽、運動を立ち上げ、3月には地域住民とともに「鹿角の医療と福祉を考える市民町民集会」が2

向かっていきました。30名で開催され、10年以上の運動が続けられてきました。平成20(08)年12月には、労組として医師確保の運動に取り組んでいた石西厚生連(島根県津和野町、厚生連発祥の地とされる)で「退職金債務」を理由にした「破産宣告」が突如なされ、翌年3月



オペレッタ「目覚める看護師たち」を公演 平成15年10月



全厚労独自の厚生労働省交渉(平成14年)。写真右が平成11～20年に書記長だった岩佐さん

地域の医師不足の問題深刻に。

全体的な医師不足はもちろんです、特に地方へき地での医師不足は深刻な状況でした。平成18(06)年2月には、秋田の鹿角総合病院から精神科の常勤医師が撤退することが告げられ、支部では急遽、運動を立ち上げ、3月には地域住民とともに「鹿角の医療と福祉を考える市民町民集会」が2

向かっていきました。30名で開催され、10年以上の運動が続けられてきました。平成20(08)年12月には、労組として医師確保の運動に取り組んでいた石西厚生連(島根県津和野町、厚生連発祥の地とされる)で「退職金債務」を理由にした「破産宣告」が突如なされ、翌年3月

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第141回は長野と徳島をお願いします。



長野 高嶋洋子さん

長厚労北信総合病院支部に勤務する高嶋洋子さんを紹介します。

看護師として就職し、昨年4月より、長厚労北信支部の労働組合専従として勤務し、元気に日々の活動に情熱を注いでいます。

まじめな性格でとても明るく、時に厳しいこともポロリと言ってしまうのですが、面倒見がよいので後輩からも慕われ、支部役員や長厚労本部書記局からも頼りにされています。

これからは長厚労を支える若手のリーダーとして、運動の先頭に立って活躍して欲しいと思います。

徳厚労書記局に昨年10月より事務専従として採用された井上奈月さんを紹介します。

井上さんは9月まで医療とは全く関係のない金融機関で働いていました。その時の経験を生かし、パソコンや経理等をテキパキとこなす日々の事務処理を行っています。

まだ数ヶ月しか経っておらず、なれない組合用語や医療用語に悪戦苦闘しながら一日も早く組合員の皆さんの期待に応えられるよう奮闘中です。

プライベートではディズニーとカラオケが大好きな井上さん!!

全国の集会等で見かけることがありましたら、皆さん優しく声をかけてくださいね。



徳島 井上奈月さん

読者の声

今回の1面では青年部の交流会が取り上げられていましたが、各県で交流会が開かれていることを改めて知り、縦の繋がりも大事ですが、横の繋がりもなくてはならないので、積極的に参加していこうと思いました。(富山)

— 同世代の仲間がいると悩みの相談など、もしやすすいすいね。職種や支部を越えて交流できるのは、組合の強みだと思います。どんなに参加して、交流の輪が広がれば、私も心強いです。(K1)

— 新人だった頃、あんな事言う先輩にはなりたくない! と思っても、その年代になると、自分が言われた事と同様に言っている気がします。あの頃」に振りかえる時間も大事と感じました。(S1)

— 新人だった頃、あんな事言う先輩にはなりたくない! と思っても、その年代になると、自分が言われた事と同様に言っている気がします。あの頃」に振りかえる時間も大事と感じました。(S1)

— 新人だった頃、あんな事言う先輩にはなりたくない! と思っても、その年代になると、自分が言われた事と同様に言っている気がします。あの頃」に振りかえる時間も大事と感じました。(S1)

— 新人だった頃、あんな事言う先輩にはなりたくない! と思っても、その年代になると、自分が言われた事と同様に言っている気がします。あの頃」に振りかえる時間も大事と感じました。(S1)

— 新人だった頃、あんな事言う先輩にはなりたくない! と思っても、その年代になると、自分が言われた事と同様に言っている気がします。あの頃」に振りかえる時間も大事と感じました。(S1)

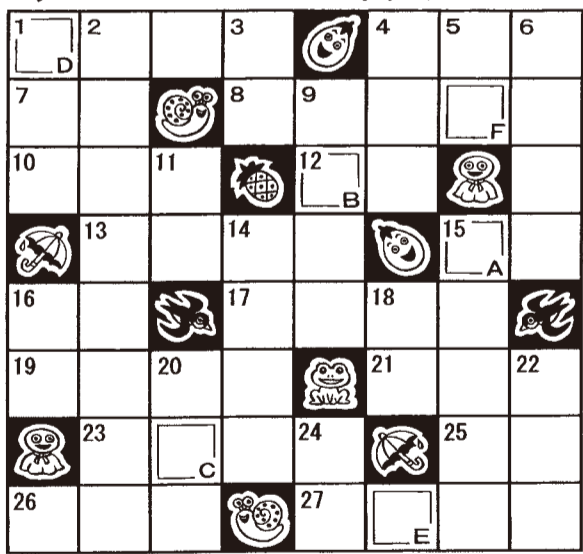
— 新人だった頃、あんな事言う先輩にはなりたくない! と思っても、その年代になると、自分が言われた事と同様に言っている気がします。あの頃」に振りかえる時間も大事と感じました。(S1)

— 新人だった頃、あんな事言う先輩にはなりたくない! と思っても、その年代になると、自分が言われた事と同様に言っている気がします。あの頃」に振りかえる時間も大事と感じました。(S1)

— 新人だった頃、あんな事言う先輩にはなりたくない! と思っても、その年代になると、自分が言われた事と同様に言っている気がします。あの頃」に振りかえる時間も大事と感じました。(S1)

ザ★クロスワード

出題▶モロズミ勝



【問題】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は、なに?

- ヨコのカギ
- 1 クシャミを誘う香辛料
- 4 上昇の対義語
- 7 酒に漬けて薬用に?
- 8 リンゴの落下で大発見をした人
- 10 金属の輪をつないだ物
- 12 北極・南極は90度
- 13 作曲家ホルストの組曲。「木星」が有名
- 15 三顧の…。一堂…。
- 16 転ばぬ先の…。
- 17 ちあきなおみの代表曲
- 19 迷妄と考えられる信仰
- 21 お金の古風な言い方
- 23 …スポーツ。…な趣味。
- 25 泥棒の始まり。
- 26 …一会の出会い
- 27 「動物記」を書いた人

- タテのカギ
- 1 岩手県久慈市などが産地
- 2 新1万円札の顔
- 3 軍艦巻きの定番ネタ
- 4 会員…。ゲーム。
- 5 京都、奈良、鎌倉など
- 6 ベートーベンの交響曲第5番
- 9 …神教。…無二。
- 11 大…棚。…の孤島。
- 14 野球では二塁
- 15 新聞などの紙面割付
- 16 伸びたら切りましょう
- 18 タンスの数え方
- 20 2018年は「半端な
- 22 …いつて」など。
- 24 人類は猿の…。
- 26 これが早い人は陸上選手に、長い人はモデル

締め切り：2019年6月末日 消印有効
あて先：〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5-6F 全厚労 ニュース係

だんぜん安いワイドな保障!

掛け金で セット共済

入院・休業・死亡・障害を補償

セット共済7型 + 医療上積16口

月掛金2,400円で 1日だけの入院OK!

入院 (1日~180日) 日額 10,000円

休業 (1日~90日) 日額 5,000円

死亡 100万円

★契約内容の詳細は、リーフレットをご覧ください。

組合員のための共済制度です

ご相談・お問い合わせは 医労連共済

お気軽に労働組合の共済担当者まで 0120-160931

右のQRコードから全厚労ホームページを開き、「資料・データ」のページから過去の全厚労ニュースを見る事が出来ます。

クロスワードの投稿もQRコードからできます。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。投稿数に応じてポイントが貯まります。今年度からハガキでもポイントが貯まります☆

スマホからすべて投稿できます★

教宣部の つぶやき

モンパチライブ! やつぱり平和が番! 先日、十数年ぶりにモンパチ(モンゴル800)のライブに目撃された。気持ちは高校生に戻り、はしゃぐ私。しかし、身体は30代…。でも、周りを見渡せば、同じ世代の方ばかり。なんだか、とても心が救われて、歳なんて関係なく騒ぎました。モンパチには、平和の唄が沢山あります。難しい問題だけれども、若い世代から親しみを持って笑える歌詞が沢山あります。そうやって考えずにモンパチの曲を聴くだけでも歌詞は心に染み入ります!! これからもモンパチ愛、なんくるないさ、精神で頑張ります!! 今年も、若玉の方々の声は聴かせたい。(S1)